

東京都の 水素エネルギー施策情報が満載

見どころ

プロジェクション
マッピングを
使った体験ブース



ブース
イメージ

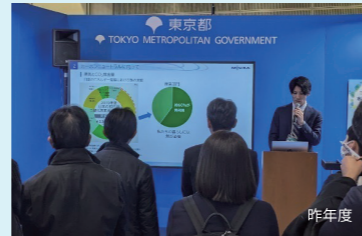


アンケートはこちら

回答完了画面をご提示ください。
抽選会に参加できます。



都の取組紹介のプレゼンテーション
及び映像放映



Tokyo スイソ推進チームメンバー
によるプレゼンテーション



都施策等のパネル展示や情報紹介

Tokyoスイソ推進チームでは、
新規加入団体を募集しています。
是非、ご参加ください！

参加手続等、詳細は
こちらをご参照ください。



Tokyoスイソ推進チーム
(略称：チームすいすい)

水素エネルギーの普及に向け、官民両輪によるムーブメントを醸成すべく、民間企業や都内自治体等と共に「Tokyo スイソ推進チーム（略称：チームすいすい）」を発足させました。志を同じくする官民の多くの団体と共に、水素エネルギーの普及に向けた取組を広く展開しております。



都の水素エネルギー特集ホームページ

Tokyo 水素ナビでは、東京都の取組などを紹介しています。

コンテンツ

- ①トップページ
 - ・2050年、グリーン水素が活用されるまちのイメージ
 - ・「What's New 新着情報」
- ②「Press Release 報道発表」
 - 東京都の水素エネルギーに関する報道発表を発信
- ③水素エネルギーの普及に向けた東京都の取組
 - ・東京水素ビジョン
 - ・普及拡大に向けた東京都の取組状況
 - ・普及に向けた支援策（補助金等）
 - ・東京2020大会のレガシー
 - ・東京グリーン水素ラウンドテーブル
 - ・イベント情報

- ④Tokyo スイソ推進チーム
 - 活動紹介や、参加メンバーの取組紹介、メンバー募集について掲載
- ⑤都内の水素エネルギー普及状況
 - ・水素ステーションの設置
 - ・燃料電池バスの導入
 - ・グリーン水素の普及
 - ・まちづくりでの水素活用
 - 東京2020大会の晴海選手村跡地の取組を紹介 など

今後もTokyo水素ナビでは、
最新の取組やイベント情報を掲載していきますので、
ぜひご覧ください！

contents

H2 & FC EXPO 春

第23回 国際 水素・燃料電池展



東京都

ブース No.E10-17

Tokyoスイソ推進チーム参加団体の取組発表と 東京都の取組発表等を行います。

スケジュール

2月19日(水)

10:30 ~ 11:00

「地域における再エネシェアリング推進事業」
東芝エネルギーシステムズ株式会社

11:00 ~ 11:30

川崎重工業株式会社

11:30 ~ 12:00

公益財団法人東京都環境公社

13:30 ~ 14:00

「地域における再エネシェアリング推進事業」
東芝エネルギーシステムズ株式会社

14:00 ~ 14:30

三浦工業株式会社

14:30 ~ 15:00

株式会社神戸製鋼所

2月20日(木)

10:30 ~ 11:00

「地域における再エネシェアリング推進事業」
東芝エネルギーシステムズ株式会社

11:00 ~ 11:30

株式会社
東京オールアンドデー

11:30 ~ 12:00

千代田化工建設
株式会社

13:30 ~ 14:00

「地域における再エネシェアリング推進事業」
東芝エネルギーシステムズ株式会社

14:00 ~ 14:30

株式会社
タツノ

2月21日(金)

10:30 ~ 11:00

「地域における再エネシェアリング推進事業」
東芝エネルギーシステムズ株式会社

11:00 ~ 11:30

株式会社
竹中工務店

11:30 ~ 12:00

ENEOS
株式会社

13:30 ~ 14:00

「地域における再エネシェアリング推進事業」
東芝エネルギーシステムズ株式会社

14:00 ~ 14:30

株式会社
タツノ

東京都の施策紹介

晴海選手村跡地での水素利用

東京2020大会の選手村跡地において、水素をまちのエネルギーとして先導的に導入するなど、環境先進都市のモデルとなるまちを目指した取組を推進しています。

2024年3月には水素ステーションが開所し、大型の燃料電池車両への水素供給体制が整うとともに、実用段階では国内初となるパイプラインによる街区への水素供給が開始されました。



© 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業特定建築者

福島県産グリーン水素の都内利用拡大

都と水素エネルギーの普及促進に関する包括的な協定を締結しているNEDOは、福島県浪江町内において、太陽光発電の電力を利用した世界有数規模の水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)」で実証を行っています。都は福島県産水素を都内で継続的に活用し、グリーン水素の利用拡大を進めていきます。



NEDO理事長 東京都知事 福島県知事 浪江町長

グリーン水素率先利用事業者認証制度

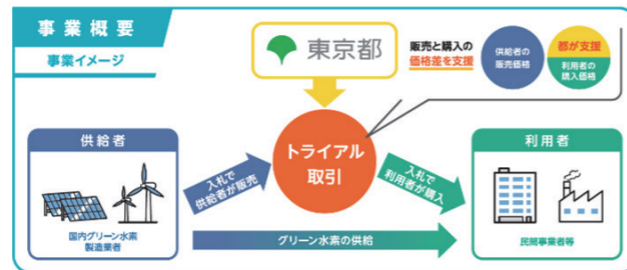
東京都内で、前年度1年間に一定量の再生可能エネルギー電力由来の水素(グリーン水素)を利用した事業者等を「グリーン水素率先利用事業者」として認証する制度です。グリーン水素を都内の事業所内で製造し利用するオンサイト型、国内で製造されたグリーン水素を調達し都内の事業所内の設備で利用するオフサイト型などの認証区分があり、事業者の利用形態に応じて認証する仕組みです。2024年度は、2事業者(株式会社大林組、清水建設株式会社)を認証しました。



©東京都

グリーン水素トライアル取引

再生可能エネルギー電力由来の水素(グリーン水素)の取引機会創出、利用促進に向けて、市場形式による水素取引を試行する新しい取組です。ダブルオークション方式により販売と購入の価格をそれぞれ入札で取り決め、販売と購入に価格差が生じる場合は都が支援をする制度です。2024年12月に、トレーラー輸送コース(1基 2,484Nm³)・カードル輸送コース(1基 263Nm³)の2つの区分で第1回の入札を実施しました。



京浜島でのグリーン水素製造

東京都は、グリーン水素の活用促進に関する基本合意書を締結した山梨県(企業局)との共同事業として、都内初の本格的な水素製造施設を大田区京浜島の公有地に整備します。水電解装置1基を先行稼働し、将来的に全3基を稼働予定です。



水素供給体制の構築

東京におけるパイプラインを含めた水素供給体制検討協議会

2024年4月24日、東京都では、水素エネルギーの需要拡大、早期社会実装化を目指し、将来的な海外からの水素受入を想定した東京都内における水素供給体制の構築に向けた官民の協議会を設立しました。多数の関係者との合意形成や情報共有を図り、議論を推進していきます。



第一回全体会議(2024.4.)

Tokyoスイソ推進チーム参加団体の取組発表

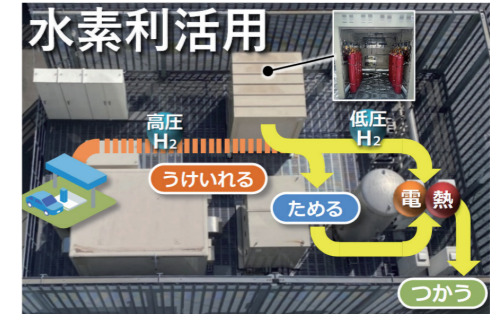
株式会社 神戸製鋼所

神戸製鋼所は、素材系事業、機械系事業、電力事業の3つの分野を中心に事業を行っています。各事業において脱炭素/低炭素は大きな課題であり、水素の活用も重要な要素となると考えています。今回は、兵庫県の高砂製作所で実施している工場の熱源向けに水素と都市ガスの混焼から専焼に向けた各種取組を紹介するとともに今後の課題などご紹介します。



株式会社竹中工務店

世界規模での水素需要の高まりを受け、当社は社会課題の解決に向けた新たな取り組みとしてマルチ水素ステーションから高圧水素を建物へ「うけいれる」ためのオフサイト型システムを構築、実証を行いました。これまで知見を積み重ねたオフサイト型システムを含め、オフィスビル、商業施設、工場などにおける建物や地域の燃料供給拠点の拡大への貢献も視野とした当社技術を紹介いたします。



株式会社タツノ

タツノは水素で世界の持続可能な社会を実現するため、様々な取り組みをおこなっています。是非タツノブース(E4-37)へもお立ち寄りください。

TATSUNO 高精度 ±0.5% コリオリ流量計

| H35 MF model | H70 NF/MF model | H70 HF model |
|---|--|--|
| MF (ミドルフロー) [35MPa フラス] 10 ~ 270kg/h | NF (ノーマルフロー) / MF 適用品 [70MPa フラス] 10 ~ 64kg/h | HF (ハイフロー) [70MPa フラス] 96 ~ 192kg/h |

- 主要国の安全・防振認証を取得済み
- 研究施設等やマスターメーターとしての利用も多数
- 自社製「水素ディスペンサー」内部にも採用
- 高圧水素、CNG、アンモニアなど様々な流体を計測

千代田化工建設株式会社

千代田化工建設は総合エンジニアリング会社として、カーボンニュートラル社会の実現に資する水素バリューチェーンの構築を目指し、MCHを活用した水素サプライチェーンの事業化やプラント EPC(設計・調達・建設)、水素製造分野におけるトヨタ自動車との大規模水電解システム共同開発など国内外パートナーとの各種検討業務、自社での技術開発等、多方面から水素事業に取り組んでいます。



三浦工業株式会社

カーボンニュートラル社会の実現のために産業分野の熱の脱炭素化推進は非常に重要です。ボイラをはじめとする産業用の熱機器の省エネや水素をはじめとするカーボンニュートラル燃料の活用についてのミウラの取り組みを紹介します。



川崎重工業株式会社

Kawasaki Hydrogen Road ~ 水素社会の未来を切り拓く ~
カーボンニュートラルの早期実現のために、安定的にエネルギーを確保する。地球環境により配慮する。この「二重流」を実現するカギが「水素エネルギー」。水素エネルギーがもたらす新しい未来を、世界中の人々へ。Kawasaki グループの総合力を結集した取り組みは、すでに始まっています。世界中の人々のより豊かな暮らしと地球環境の未来に貢献させていただきます。



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All rights reserved.